

担当教員授業題目		野外調査法実習 III (信州大学)			担当教員	公文富士夫	
英文授業名		Exercise for field survey III			副担当教員	原山智・高橋耕一	
単位数	1	講義期間	集中	曜日・時限	前期	対象学年	3年
授業形態	実習	備考	9月初旬に2泊3日の合宿(信州大学 山岳総研 上高地ステーション利用予定)				
<p>(1)授業のねらい 山岳域における野外調査を通じて、自然の歴史性、地形発達史、生態系の成り立ちと相互作用などについて知見を深め、探求する心を育てる。</p> <p>(2)授業の概要 長野県、上高地～蝶ヶ岳地域を対象に、地形・地質調査、森林限界域の植生調査、網状河川調査などを通じて、山岳域の地形形成過程、氷河地形、高山帯の森林植生、侵食作用などについての調査能力の習得を図る。</p> <p>(3)授業計画 ・ガイダンス：実習の進め方、日程および調査目標などについて、電子メールで通知し、学習資料の送付・自習によって調査の準備を進める。(受講者が確定した後5～6月に実施)。 ・野外実習：9月初旬の天候の良い時期に実施 1日目午後：正午過ぎに松本駅に集合後、乗用車で移動。上高地において形成過程について、大正池～明神間の地形や植生の見学を行う。 夜間：上高地の成立過程、植生調査法等の講義を受け、翌日の調査の準備を行う。</p>				<p>2日目：蝶ヶ岳周辺の地形・地質および高山帯の植生調査。早朝から夕方までの行動。ある程度の難易度のある登山を伴う。夜：まとめ 3日午前：梓川上流部における網状河川および川辺林の調査実習 午後：移動して松本駅にて解散(その日の内にそれぞれの大学へ帰れる予定) ・9月末までにレポート等の提出</p> <p>(4)成績評価の方法 提出物(ルートマップ、植生調査票、フィールドノートなど)の内容および実習への取り組み態度で成績を評価する。</p> <p>(5)履修上の注意 信州大学山岳総合科学研究所上高地ステーションを利用して、9月初旬に2泊3日で実習を行う。ステーションの利用経費は1泊につき宿泊費1000円+食費1000円程度であるが、参加者の負担となる。松本から上高地ステーションまでは大学の学用車を利用する(無料)。松本駅までの旅費も参加者の負担です。 調査は登山を伴うので、体力的な難易度は高い。登山靴とヘルメットは使い慣れたものを各自で用意しておくこと。地質調査や植生調査の経験が多少ともあることが望ましいが、不可欠ではない。4年生も可。定員は5～10名程度。</p> <p>(6)質問、相談への対応 電子メール(公文宛：shkumon@shinshu-u.ac.jp)で随時受け付けます。</p>			
<p>【教科書】資料を配付する。 【参考書】事前に参加者へ紹介する。</p>							